

破傷風予防のためにできること

1. 破傷風とは

- ・土の中や動物のフンの中にいる破傷風菌が原因で起こる感染症。
- ・体内に入ると神経を麻痺させる毒素を作り出し、筋肉の痙攣や麻痺の症状がでる。
- ・破傷風菌に感染した場合、80%で全身症状が見られ**死亡率は30-40%**と非常に危険。
- ・潜伏期間は7-21日程度、初期症状は口があきにくい、飲み込みずらいなど。



2. 破傷風の治療

- ・発症後数日以内に非常に危険な状態になるため、入院での治療が必要。
- ・治療に用いられる抗破傷風人免疫グロブリンは、感染初期に治療を開始することが大事。
- ・治療経過がよくても、症状がよくなるまでには数か月はかかる

3. 破傷風を予防するためにできること

- ・感染のリスクを避けることが重要。

屋外での作業をする場合には、服装や靴、軍手など防護を行う。

- ・破傷風菌は、消毒では殺菌できない → **まずは傷をきれいに洗う**

- ・ **一番の予防はワクチン接種**



○1986年以降に生まれた人は子供のころに定期予防接種でワクチン接種あり

→10年程度で免疫効果はきれてしまう

○衛生環境への配慮が不十分な国への旅行や滞在を予定している人、農業、屋外工事などの仕事をしている人などは、破傷風の予防接種を受けることが推奨（10年に一度程度）

現在、破傷風トキソイドワクチンが不足しており、当分投与が難しいかもしれない。

破傷風は、日本国内でもいまだに多くの感染が報告されています。

感染のリスクが考えられる場合には速やかに病院へ行きましょう。